

道

2018年5月



備中国分寺・五重塔

▼「林さんは、独善的で、自分の考えを相手に押し付ける。相手の考えに耳を傾けない。自分の誤りを認めない」「ちよっと待ってよ、そんなことはない!」。「ほら、そうして相手の言葉を途中で遮って聞こうとしない。自分ばかり出す。自分中心なんだ。それをへんな理屈でまやかす」。▼酒の席でAさんから、そのような厳しい言葉を受けました。酒が入ると、普段は心の奥に仕舞って置けるようなことも表に出てきます。Aさんの本音でした。▼僕は常々「対話」が大事だと言ってきました。人はそれぞれ、生まれ育ちや生活スタイル、考えや性格などが異なる。そうした違いを乗り越えて、お互いを受容し大切にすることが重要だ。それが人と社会を豊かにする。そこに「対話」は欠かせない。そう思って人と接してきただつもりでした。ところが、実際の僕はそうではないと指摘されたのです。ショックでした。落ち込みます。▼そして、長田弘さんの言葉を思い出しました。「対話を豊かな時間にするものは、喋ること・話すことでなく、黙ること」「片方が話すとき、片方は黙る」「すなわち聴くということですよ。へ口なつかしい時間よりも」。▼今はもう、この席を設け、その場に居合わせた方々、そして何よりもAさんに感謝するばかりです。Aさんと気兼ねなく「対話」できたらいいなと願います。でもまあ、狭い心の僕、それも「僕」なんですよね。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

090-5366-1497

michi-care@outlook.jp

<https://michi-care.jimdo.com/>

林道也



遠田 椋の木